



ボタニカ 菩多尼訶

— 本草学から植物学へ —

菩多尼訶經

江戸宇田川榕

如是我聞。西方世界。有孔刺
私木里索肉私刺愈斯多兒
滿葛蕪法兒拔烏非奴私馬
斯律兌弗大學師蒲爾花歇
等諸大聖。累代出世。各於其
大道場。設大法會。出大音聲
有上微妙甚深最勝真理。教
爾時大聖告諸大弟子言。四
億一切衆生。差別二種。人馬
鯨蛇蠍龍。蠅蜂龜蟹。性情智
不步行自在。名曰動物。性情
有雄有雌。有一體兼男女。有
量。有色相。不能步行。名曰植
來一理

我説如是。最勝真理。若汝等
之。亞墨利加洲有草。號密草
縮而萎。汝等若爲異域遠物
更女等見得是真理。用憲式

2023年6月6日(火)
~10月1日(日)

開館時間 9時～17時
観覧料 無料
休館日 毎週月曜日・国民の祝日(7月17日・8月11日・9月18日・9月23日)及び6月30日(金、月末休館日)・8月31日(木、月末休館日)

※諸々の事情により変更になる場合があります。最新の情報は文書館ホームページで御確認ください。

交通案内 JR浦和駅から 西口下車徒歩15分
または国際興業バス「県庁前」下車3分
JR中浦和駅から 下車徒歩18分
または国際興業バス「県庁前」下車3分



埼玉県のマスコット
コバトン&さいたまっちゃん



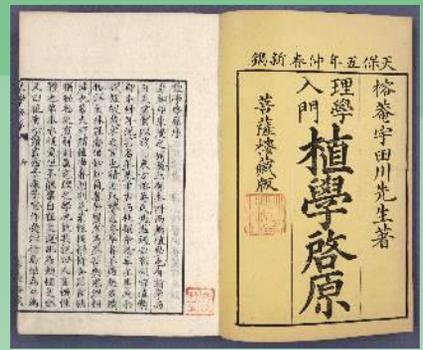
さいたまけんりつもんじょかん
埼玉県立文書館
Saitama Prefectural Archives

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂4-3-18
TEL 048-865-0112
HP <https://monjo.spec.ed.jp/>



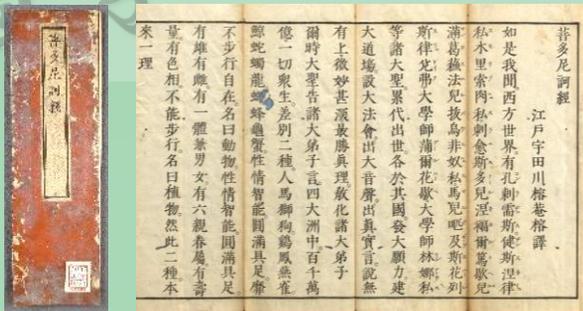
～植物学、黎明～

江戸時代、自然を対象とした研究は「本草学」と呼ばれ、そのなかから「博物学」や「医学」など、様々な学問が発展していきました。植物を研究する「植物学」も、本草学から派生した学問のひとつです。文政5年（1822）、津山藩の藩医宇田川榕菴は、『菩多尼訶経（ぼたにかきょう）』を著し、西洋における植物学を日本にはじめて紹介しました。このことは、植物学が広まっていく契機となりました。



宇田川榕菴著『植学啓原』
(小室家文書3954)

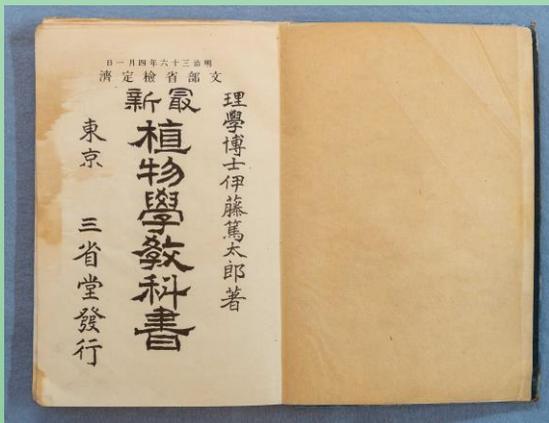
本企画展では、埼玉県立文書館が収蔵する資料の中から、我が国における植物学の祖とされる宇田川榕菴が著した『菩多尼訶経』や『植学啓原』といった典籍をはじめ、近世の本草学に関する資料や、近代植物学の成立に関する資料を展示して紹介します。



宇田川榕菴著『菩多尼訶経』
(小室家文書4063)



貝原益軒著『大和本草』
(小室家文書3933～3942)



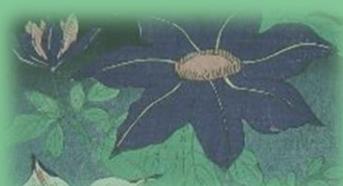
伊藤篤太郎著『最新植物学教科書』
(大熊（正）家文書5787)



田中芳男・小野職慈撰『有用植物図説』
(図書、A470ユ)

BOTANY

植物学



さいたまけんりつもんじょかん
埼玉県立文書館
Saitama Prefectural Archives



文書館のマスコット
もんじろう

